

建築主：医療法人 ^{みずきかい} 美鷗会
設計：夏目設計事務所
施工：株式会社鈴木工務店
所在地：南房総市和田町松田714-1

建築文化奨励賞

ユニバーサルデザインに配慮した建築物
住宅のスケールと細部をもつグループホーム

グループホーム ^{うつく} 美しの里

「グループホーム美しの里」は、静かな住宅地の中に位置し、そのたたずまいも、やや大きな住宅のようであり、施設ではなく、より家に近い雰囲気をもつたグループホームのコンセプトを体现している。

9人以下というグループホームの規定によって、「グループホーム美しの里」は1階と2階のそれぞれが独立した構成になっている。それぞれにゆったりとした食堂・居間をもち、各個室も各人の独立性をたもちながら、介護にあたる職員がさりげなく中の様子を知ることができるように工夫されている。廊下も各個室の扉に表情をもたせて、あるいは腰掛けられるコーナーを設けるなど、単なる通路にならない楽しい雰囲気がある。全体に、高齢者の施設を多く手がけた設計者の行き届いた配慮が感じられる建物である。

また、こうした施設がうまく運営されるためには、運営者と設計者のコラボレーションが重要となることは言うまでもないが、それも問題なく良質なグループホームとなっている。ただ、この種の同質な入所者をあつめた施設が、どのように地域との連携をはかり、より開かれた場所としてあるためには、さらに工夫が必要であろう。これは、「グループホーム美しの里」の問題というよりはグループホームというプログラムの問題でもあるのだが、建物のうしろにあった、小さな菜園などが、その意味ではもっと建物と連携して発展的に運営されると、そのような可能性もみえてくるのではないかと思えた。（篠原聡子）



地域との活発な交流の場
バスストップを設置



少人数のふれあいの場
廊下のアルコーブ （撮影/栗原宏光）

建築主：千葉市
設計：株式会社ティー・アンド・エム設計
施工：旭建設株式会社
所在地：千葉市若葉区野呂町622-10

建築文化奨励賞

環境に配慮した建築物
「つどい・まなぶ・つなぐ」生涯学習施設

千葉市白井公民館・若葉図書館泉分館

和瓦葺き切妻屋根の公民館棟とガラスの排気塔をもつ寄棟屋根の図書館棟を渡り廊下で接続したコミュニティ複合施設で、「つどい・まなぶ・つなぐ」をキーワードとする地域の生涯学習拠点施設である。

千葉市郊外の緑豊かな自然環境とよく調和する落ち着いたデザインでまとめられ、静寂な空間を求める図書館棟と和室は国道の騒音から遠ざけるために敷地の奥に配置し、緑を取り込んだ中庭と一体感をもたせている。

ラウンジは十分なスペースを確保し、開放的で明るい市民の交流空間として多目的利用に供している。

各室内は温もりが感じられ人に優しい木質系を多用し、外壁や軒天井にも県内産の木材や珪藻土、リサイクル製品などを使用して地球に優しい建築を目指すとともに、太陽光発電や地下貯水槽を設けて雨水再利用を図るなど、自然エネルギーの活用にも取り組んでいる。

欲を言えば、図書館の本造小屋組全体を見せて、より直截な構造美を表現した方がよかったのではないかと。また、和室屋根の空調屋外機が目隠しの扱いに配慮が欲しかったとの審査員の声もあった。残念ながら文化賞には届かなかったが、設計者の今後の活躍に期待したい。（明智克夫）

（撮影/ABE写真工房）



公民館・図書館全景



方形の屋根を支える構造材を見えるようにデザイン